

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【公表番号】特表2016-512281(P2016-512281A)

【公表日】平成28年4月25日(2016.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-025

【出願番号】特願2016-502112(P2016-502112)

【国際特許分類】

C 08 G 69/04 (2006.01)

【F I】

C 08 G 69/04

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月25日(2017.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配合ポリアミドを製造するための方法であって、当該方法は、1またはそれよりも多くのポリマー配合デバイスに、溶融したポリアミド供給原料を直接的に導入することを含み、該溶融した供給原料を重合プロセスによって調製し、前記重合プロセスが連続法またはバッチ法である、方法。

【請求項2】

前記配合ポリアミドの付着の値が、2.0mg/1000ショット未満である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記配合ポリアミドの相対粘度(RV)の範囲がサンプル間で2単位未満である、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記溶融したポリアミドの供給原料が、溶融したナイロン66の供給原料である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記ポリマー配合デバイスが押出機である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記押出機が二軸押出機である、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記二軸押出機のスクリュ軸の長さ：直径の比が、24:1~56:1の範囲内である、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記1またはそれよりも多くのポリマー配合デバイスに1またはそれよりも多くの添加剤、充填剤、補強剤および改質剤を導入することをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記ポリマー重合プロセスが、前記1またはそれよりも多くのポリマー配合デバイスから50フィート未満で生じる、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

付着の値が2.0mg/1000ショット未満であり、相対粘度(RV)が40~10

0 の範囲内である、配合ポリアミド。

【請求項 1 1】

前記ポリアミドがナイロン 6 6 である、請求項 1 0 に記載の配合ポリアミド。

【請求項 1 2】

1 またはそれよりも多くの添加剤、充填剤、補強剤および改質剤をさらに含む、請求項 1 0 に記載の配合ポリアミド。

【請求項 1 3】

相対粘度の範囲がサンプル間で 3 単位未満である、複数の配合ポリアミドのサンプル。

【請求項 1 4】

相対粘度の範囲がサンプル間で 2 単位未満である、請求項 1 3 に記載の複数の配合ポリアミドのサンプル。